

第7回 定期 総会 報告

(2011年10月28日15時00分～18時30)

会 員 総 数：86名 (9月30日現在)

出 席 者 数：12名

委任状提出者数：19名

司会：事務局 山岡直子

規約13条(会員五分の一にて総会成立)に基づき、本総会は成立

1. 開会の辞 (南塚信吾)

お忙しいところお集まりいただきありがとうございました。今までの経験をいかしてこれからも充実した活動をつづけていけたらいいと思います。

それでは、これから第7回定期総会をはじめます。

2. 会長挨拶 (多賀正夫)

第6回ツアーも近づいてきました。首都圏在住のツアー参加の皆さん、着々と準備を進めてくださっていてありがとうございます。

この秋に、高校の同期会がありました。その折、「先日、カンボジアへ旅行にいったのだが、ある村に案内されてそこで立山連邦の写真を見て驚いた。なんでこんなところに立山の写真があるのかと聞いたところ、多賀さんの名前がでてきて、AYFのことを初めて知った」というお話がありました。案外身近なところに、私たちの活動のことを知らない人がいるものです。このような切掛けを含め、折に触れ、少しでも多くの人に私たちの活動を広めていけたらと願っています。

この一年でまた子供たちが成長していることと思います。それを励みに着実に積み重ねていきましょう。これからも皆様の協力をお願いします。

2. 議事

(1) 2010年度活動報告 (山岡直子)・・・別紙参照

- ・日本から本を持参するのも大変ですし、最近クメール語の絵本が出回ってきているということで、図書購入費として300\$送金しました。活動報告にもあるように、数十冊の本を購入して、図書室も充実したとんこと。

(2) 2010年度会計報告 (山岡幸代)・・・別紙参照

- ・会計監査(稲垣宏之)から承認の報告があった
- ・この期は、ツアーの実施がなかったため、交流会費や印刷費(報告書作成費)は支出がなかった。

・円高のおかげで、例年通りの送金であるが、予算をだいぶ下回った。

(3) 2011年度活動案(山岡直子)・・・別紙参照

(4) 2011年度予算案(山岡幸代)・・・別紙参照

・為替が不安定な状況であるが、1\$=80円で換算して予算をたてた。

(5) 役員改選について

特に、理事を退任したいとか、立候補したいという希望がなかったので、昨年に引き続き、以下の方々に理事として活動していただくことになりました。

代表：多賀正夫

理事：中川 武、南塚信吾、金岡 隆、長谷川瑞穂、榊原良一、

稲垣宏之、田口 直、野村裕子、山岡直子

以上、承認されました。

(6) AYFの今後について

式次第では、①～⑤まで分けて記しましたが、全体にわたっての意見がでましたので、以下に記します。

- ・総会やツアー準備会などに出席する顔触れがほぼおなじで、変わりばえしない。もっと会員同士の交流の活性化を図ることを考えたい。
- ・昨年の総会で、クラウ村の子供たちの絵の展示会を開く話がでていたが、実施しなかった——心当たりで打診していたが、もっと趣旨などが明確でないのと難しい。そうこうしているうちに大震災があり、頓挫してしまった。
- ・子供の絵の展示をふくめ、カンボジアの織物や食べ物を紹介する、「カンボジアフェア」のような企画はどうか——慎重に計画する必要がある。
- ・会員でまだ現地へ行っていない人も多くいるが、なるべくツアーに参加してもらおうよう声をかけていく。
- ・ライオンズクラブから活動の一環でランドセルをカンボジアに贈っているが、クラウ村にもという話があり、間にはいった。しかし、贈りたいものが、現地で使ってくれるかどうかの心配がありなんどもメールのやりとりをした。善意が相手にとっても善意であって、すべて受け入れられるとは限らない、受ける側への押し付けにならないよう、気をつけなければいけないこともある。
- ・村の子供をホームステイの形で受け入れてはどうかという意見が以前からあるが、現状では難しいようです。あまりにもギャップが大きすぎてその子供のためにならないとか、現実に人数を絞って子供を選ぶことが無理な状況であるなどの理由。
- ・子供たちにもっと遺跡への関心を深めてもらいたい。
それには、昨年の中川さんからの報告があったように、
「JSAで、考古学教室の開催している。これは対象が大人の教室と子供(小・中

学生)の教室の二本立てで行う。子供むけの考古学教室は、毎回、さまざまな学校から60人位の生徒が集まってきている。もちろんクラウ村の子供たちも何回か参加している。」ということで、対応はされているようである。

(6) 第六回「やまなみ塾」訪問と遺跡見学ツアーについて

実施時期、11月25日～28日

交流会が終わったあと、ラオス観光旅行がオプションでついている。

- ・3月末から現在にいたるまで、計5回の準備会を重ねて準備を進めている。
- ・準備に関して心がけていることは、こちらの押し付けではなくできるだけ子供たち自主性を引き出せるよう「きっかけづくり」となるようなことを計画している。

4. 閉会の辞 (野村裕子)

今日は、お疲れさまでした。いくつか課題も見えてきましたが、この総会を期にまた、気持ちを改めて、AYFの活動を続けていけたらいいなと思っています。

以上

2,011年11月18日

文責 AYF事務局 山岡直子